



社会福祉法人 美樹和会

社会福祉法人 美樹和会 HP

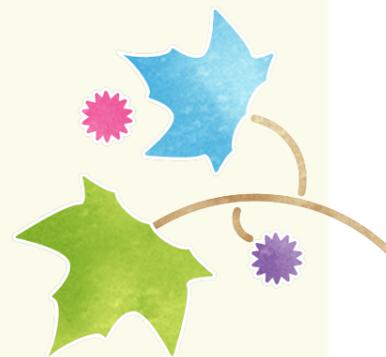
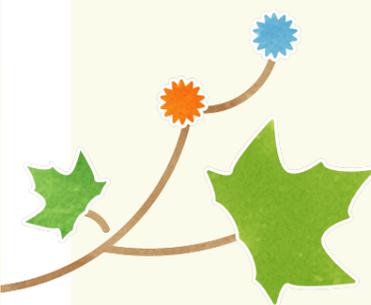
各園での日々の園児の様子や職員紹介、各種資料を掲載しております。

▶<http://migiwahoikuen.com/index.html>

撮影：沼田 俊之 長嶺 愛 高安 力



遊んで輝け
みぎわっこ



社会福祉法人 美樹和会

いつの時代も 一貫して 質の高い保育を



▲みぎわ保育園 運動会の様子 (1979年)

『主はわが牧者なり、われ乏しきことあらじ。
主はわれをみどりの野にふさせ、いこいのみぎわにともないたもう』

※新約聖書 詩篇 23 篇

社会福祉法人 美樹和 (みぎわ) 会は、聖書のこのことばを設立の精神として、1977年に京都伏見の地に誕生しました。1978年のみぎわ保育園の開園以来、みぎわ児童館 (1981年開館)、中京みぎわ保育ルーム (2014年開園)、中京みぎわ園 (2016年開園)、清水みぎわ保育園 (2018年開園)、吉秀みぎわ保育園 (2018年開園)、朱雀みぎわ学童保育所 (2021年開所) の7施設で、多くの子どもたちの成長を支えてきました。

法人設立から40年以上が経過し、この間、時代は大きく変わりましたが、みぎわの保育の原点は変わりません。保育園はまず子どもたちにとって安心できる場所であること、毎日楽しく過ごせること、そして、職員は一人ひとりの子どもの欲求や思いに寄り添い、その子のもつ可能性を信じ、伸ばしていくこと。子どもたちの主体性を重んじ、子どもどうしの生き生きとした関わりが生まれるような保育をこれからも行っていきます。



子どもは みんな一番星

子どもはみんな、
キラキラと輝く可能性をもっています。
一人ひとりの子どもたちの「星」を見出すこと。
その「星」の輝きが子どもの未来を
明るく照らすよう、個性や強みを
伸ばしていくこと。
みぎわはそんな保育を行っています。

遊びひとすじ みぎわっこ

子どもがめいっぱい遊び、
毎日心から「あー、今日も楽しかった！」
という気持ちで帰途につけるような園である
こと。子どもの「知りたい! やってみたい!」
という意欲を大切に、毎日あたらしい
経験をできるような工夫を凝らす
『遊びひとすじ』の保育園をめざします。

1977 法人創立

- 1978
・みぎわ保育園 開園
- 1981
・みぎわ児童館 開館
- 2014
・中京みぎわ保育ルーム 開園
- 2016
・中京みぎわ園 開園
- 2018
・清水みぎわ保育園 開園
・吉秀みぎわ保育園 開園
- 2020
・中京みぎわ園 ななほし 開園
- 2021
・朱雀みぎわ学童保育所 開所
- 2022
・炭山みぎわビレッジ 開村



▲みぎわ保育園 (1970年代後半、80年代前半の様子)



自分が大切に
されることで
人を大切に
できるよ

乳児期に子どもが保育士と愛着関係を築き、「自分は愛されている。必要とされている」と実感できるような保育を行っています。自分が大切にされることで、子どもたちの自己肯定感や他者を信頼する力、つまり「人と関わる力の基礎」が育まれていくのです。子どもには特定の保育士が担当として付きます。担当保育士は、子どもの様子や発達段階を考慮しながら、励ましつつ、その子のペースでひとつひとつできることを増やすよう丁寧に関わっていきます。『よく遊び、よく食べて、よく眠る』という生活の基本となる習慣を身に付けることができる保育を行います。



食事

子どもの「食べたい」という意欲を大切にしながら、担当保育士が必要な介助を行います。歩行が確立するまでは保育士と子どもが1対1で「だっこ食べ」を行い、成長にともなって1対2、1対3と仲間との食事を楽しくするようにしていきます。



着脱・排泄

生活習慣の確立をめざす一環として、担当保育士が子どもたちの衣服の着脱場面で、適切な介助を行います。排泄については、歩行が可能になってくるタイミングで、便座に座ってみることを担当保育士が促します。1歳児以降は、ご家庭と連携しつつ、個々の発達に合わせながらトレーニングパンツの使用を始めていきます。



睡眠

子どもたちが安心して眠りに入れるよう、担当保育士が寝かしつけを行います。お昼寝は子どもたちの体力を回復させ、午後の活動につなげていくための大切な時間。睡眠中は保育士がしっかりと見守り、安全を確保します。



遊び

遊びに関しては、一人ひとりを大切にするというねらいをもって、少人数に分かれ、個々が遊びに集中できる環境をつくりあげています。かつ、保育園という集団で遊べる環境を活かすため、担当保育士だけでなくいろんな友達や大人と遊べるような関わりも目指しています。



支え
支えられる
ことで
子どもは育つ

子どもたちはそれぞれの人生のなかで、いろいろな課題に向き合っていきます。子どもたちが向き合う課題を山にたとえるなら、山を目の前にしたとき、それを自分で登っていくとする力が欠かせません。自分のことを信頼し、仲間の助けを得て、一步一步、未来に向かって歩む力。

みぎわの幼児組では、こうした思いから、子どもたちの自主性や考える力を育むことを目指します。そして、乳児期に培った「人と関わる力」をさらに伸ばすため、子どもたち同士の関わりの中で、支え、支えられる体験を多く積めるよう、同年齢だけでなく異年齢での活動も多く採り入れています。

自分で考えられる力を身につけられるよう

幼児クラスでは、子どもたちの自主性や考える力を育むことを目指します。同年齢の子どもどうしの活動では、思い切り遊び込むこと、お互い切磋琢磨する関係を築くことを目指しています。子どもたちの「やってみよう！ 知りたい！」という好奇心を満たすため、さまざまな体験を日々味わうことのできる保育を行っています。



困っている人に手を差し伸べられるよう

同年齢での活動に加え、3~5歳児の子どもたちが異年齢で活動する機会を設けています。異年齢保育では、年長の子どもが年少の子どもにとってのお手本となる姿がよく見られます。年少の子どもは年長の子どもに、困ったとき助けてもらったり、教えてもらったりという経験を通じて成長していくもの。そしてその子どもが年長になったとき、今度は自分が年少の子どもに手を差し伸べることができるようになります。支えられる経験をすることで、誰かを支えることができるようになるのです。



問題を探さず、
強みは伸ばす



発達障害あるいはグレーゾーンにあるといわれる子どもに対する支援は、保育・教育現場における喫緊の課題です。成長著しい0歳から5歳の時期、子どもの持って生まれた力を大きく伸ばすためには、個々の特性を理解し、適切な配慮をもって関わる必要があります。特に、その子の「いいところ、強み」に着目し、そこを伸ばしていくことが何より重要です。

そのような環境を保障すべく、社会福祉法人美樹和会では、臨床心理士 / 公認心理師（心理職）4名と作業療法士1名が正職員として、言語聴覚士1名が外部専門家として支援活動に携わっています。法人に心理職・リハビリ職が常駐する保育園は非常に珍しいですが、実はこうした他分野の専門の人材と保育士とが協力することで、保育の質が飛躍的に向上するのです。



心理・リハビリ職

臨床心理士 / 公認心理師と作業療法士は、社会福祉法人美樹和会の運営する各施設を日々巡回しています。すべての子どもたちが安心して過ごせるような環境設定や関わり方を保育士とともに話し合い、保育の充実化を図っています。ご希望があれば、担任保育士を交えて保護者の方と面談を行うこともできます。



心理職

臨床心理士・公認心理師

吉田 かける

リハビリ職

作業療法士

尾崎 将充



心理職の専門性をどうやって保育に活かすの？

臨床心理学の観点から子どもの様子を観察するだけでなく、実際に関わっていきます。そのときの様子を発達段階や対人関係に関する理論を用いて分析し、保育士とともに子どもに関わる際の工夫を考えていきます。

子ども、保護者にとって、または同僚の保育士にとって、どのような存在でありたいの？

子どもにとっては、「保育園の先生とはまた別の、優しいような大人」、保護者にとっては「困ったとき、お迎えの時間でも気軽に相談できる人」、保育士にとっては「子どもや保護者との関わりが、心理に関することで一緒に動いてくれる仲間」を目指しています。

これまで児童相談所や精神保健福祉センターで相談員をしていたこと。その当時と今とのつながり。

児童相談所では、一時保護所での虐待対応、発達相談や療育手帳に必要な発達検査において、保護者への聞き取りや療育手帳および福祉サービスの相談と説明をしていました。

精神保健福祉センターでは、うつ病などの精神疾患の方や家族に対しての相談と福祉サービスの説明、精神保健福祉手帳の審査補助、特に10～30歳代の自殺対策に力を入れ、電話相談や自殺予防の啓発、ゲートキーパー(自殺を考えている人を止める身近な人)の養成研修を行っていました。

これらの経験から、子どもとの関わりや保護者の方とのカウンセリングにおいて「何に困っていらっしゃるのか?」「どのような解決を願っておられるのか?」を考え、困り事の解決に必要な方法や専門機関等の情報提供を行っています。

これまでどんな経験をしてきたの？

学生の頃から児童館で勤務し、卒業後は急性期病院に勤務しました。病院では、身体障害の患者様に対する機能回復訓練、日常生活動作練習や自助具を含めた環境調整の提案、QOL向上を目指した余暇活動の提案と、発達障害を抱える子どもたちへの作業療法などの作業療法臨床に取り組みました。

どうして病院から保育所・学童保育所に移ったの？

大学在学時に経験した児童館での勤務以来、地域の子どもの生活を、様々な専門性を持つ多職種との連携により支えていくモデルに関心を持っていました。美樹和会では、「保育士とともに心理職やリハビリ職が協働して、子ども達の生活を支える」プロジェクトが行われていることを知り、これはまさに私が大学生の頃から思い描く想いに合う挑戦だと直感したからです。

作業療法士の専門性を子どもたちにどう役立てるの？

子ども自らの育ちを後押しするときには、専門知識に頼りすぎ、子どもの「問題点」を見つけて「矯正」しようというスタンスでは、そのような支援は効果を十分に上げません。生活を科学的に分析しつつも、子どもにとって異質な関わりにならないことが大事だと思っています。その意味で、子ども達が取り組む活動の様子を作業分析の視点で観察し、身体面および社会性の発達におけるつまずきを発見します。この結果をもとに、遊ぶ中で体や心が育ちを「何気なく」後押しする要素を盛り込んだ活動を考えたり、環境の調整を図るようにしています。また、個別に促しが必要な運動を「さりげなく」引き出す声かけをしたり、会話を通じて自然と社会性の発達を促すような工夫を行っています。

※こちらのページにて掲載していない心理職・リハビリ職の職員は当会のホームページにて紹介しております。

炭山みぎわビレッジ ～みぎわの山の家～

自然のなかで子どもたちは育つ

2022年、みぎわの子どもたちが自然のなかでめいっぱい遊ぶことのできる「炭山みぎわビレッジ」が誕生しました。

炭山は、京都府宇治市にある山あいの静かな里。この地に生まれる「炭山みぎわビレッジ」で、子どもたちは野原を駆け回って遊んだり、草に寝転がって空にうかぶ雲をながめたり、はたまたバッタやカマキリを追いかけたり、隣を流れる川でサワガニを見つけたりと、自然遊びを心ゆくまで楽しむことができます。

みぎわだけの「山の家」も2023年には完成予定です。お泊まり保育では、子どもたちが菜園で育てた野菜を収穫して、炊事場で夕食を作り、川沿いでキャンプファイアーをしてから、この「山の家」で虫の声や川のせせらぎとともに眠りにつきます。

山の家

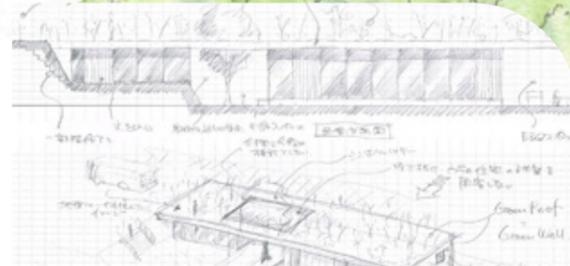
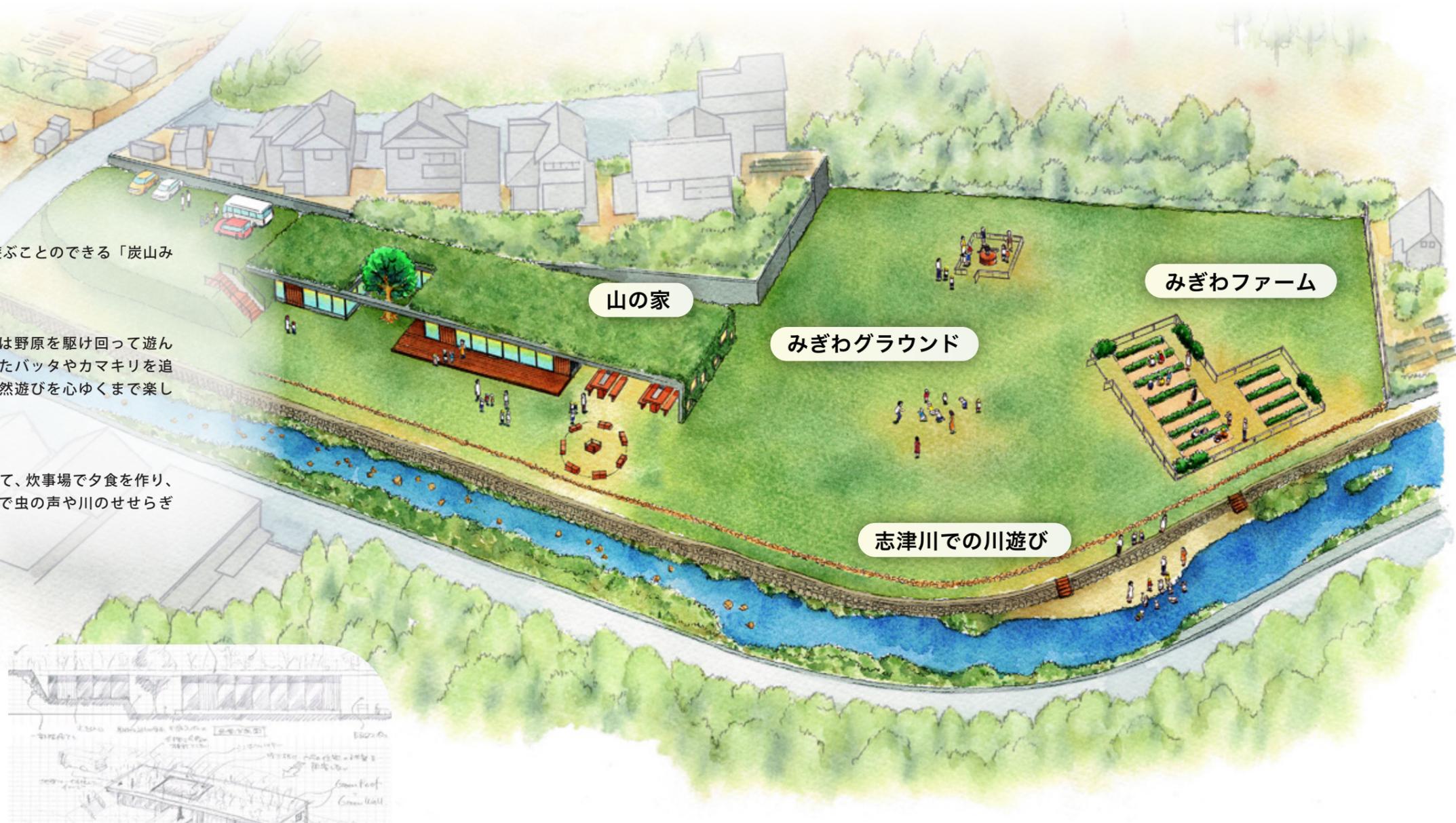
2023年の春、みぎわの子どもたちのための山の家が完成予定です。グラウンドで身体を動かして遊び、菜園での栽培や収穫に精を出し、志津川の冷たい水に触れながら川遊びを楽しんだ子どもたちにとって、山の家が憩いの場所になります。

みぎわグラウンド

グラウンドは、子どもたちにとって最高の遊び場所。めいっぱい広い空間を走り回って遊ぶもよし、緑の下草のなかに生きる虫を追いかけるのもよし、季節ごとに咲く花々を見つけ、その名前を調べてみるもよし。グラウンドの中央には井戸があり、そこから水を汲んで水浴びもできます。

みぎわファーム

みぎわの子どもたちが、自分たちで育てたい作物を毎年選んで、種まきから栽培管理、収穫まで経験できる菜園がここにあります。収穫した作物は、山の家にある炊事場で子どもたちが調理し、みんなでおいしく食べるすることができます。



志津川での川遊び

炭山みぎわビレッジのすぐそばには、志津川（しづがわ）が流れています。普段の水量は、子どもたちが川遊びをするのにちょうどよく、澄んだ水にはメダカやカワムツが泳いでいたり、石の下にはサワガニがいたり、子どもたちにとってまたとない川遊びの場所です。



アクセス

住所 炭山みぎわビレッジ 〒601-1395 京都府宇治市炭山土井谷 9-1.10.11 (電車での最寄り JR 六地藏駅、車で 13 分)

みぎわ保育園・みぎわ児童館より車で 20 分	朱雀みぎわ学童保育所より車で 48 分
清水みぎわ保育園より車で 32 分	中京みぎわ園より車で 50 分
吉秀みぎわ保育園より車で 36 分	中京みぎわ保育ルームより車で 50 分



おいしい給食が 毎日のたのしみ

給食

午前中たくさん遊んだあとは、おいしい給食の時間。乳児組では、子どもたち自身の「食べたい!」という意欲を大切に、成長段階に合わせた食事の提供・介助を行っています。
 幼児組では、年長の子供たちが中心となって配膳の手伝いをします。食事開始のお祈りのあとは、給食室の先生の想いがこもった給食をみんなで楽しみます。



社会福祉法 美樹和会 給食室長
 中京みぎわ園 栄養士

鎌倉 エリナ

毎日の給食で、子どもたちが食べることを好きになってほしい、という想いで献立を作り、調理をしています。季節ごとに旬の食材を採り入れたり、地元である京都の文化を感じられるような伝統食を提供したり、苦手なものも食べやすいよう調理法に変化をつけたりと、いろいろな工夫を凝らしています。

子どもたちに人気のレシピは保護者の方にも情報共有するように心がけています。また、ご家庭での離乳食の作り方など、保護者の方からのご相談も大歓迎です。

食育

保育のなかで、子どもたちが食に関心を持てるような取り組みを盛り込んでいます。園庭などで野菜を子どもたちと栽培する。自分たちで収穫した作物を調理して味わう。そうした経験が、いのちの大切さ、生きることの尊さ、自然に生かされていることへの感謝の気持ちを感じるきっかけになればと願っています。



ご家庭での食の支援

当会のホームページでは、園児たちに人気のレシピを発信しておりますので、ご家庭でも給食の味を再現できます。

また、離乳食の作り方セミナーを保護者の皆様に実施したり、偏食対応など食の面でお困りの場合、いつでも保育士・栄養士がご相談をお受けします。





寝られなかつた！
わくわくして
今日が楽しみで

みぎわが行事で大切にしていること。それは、子どもたちが当日を心待ちにするような、楽しい行事をつくること。

毎日の保育のなかで、子どもたちはどんどん成長していきます。行事は、その成長した姿を発揮できる一大イベント。遠足ではどんなところに行きたいか、運動会でどんな競技をしたいか、生活発表会ではどんな劇をしたいかなど、行事の企画には子どもたちも関わります。年長を中心にたくさんの意見を出す子どもたち。日常保育のなかでいっしょに行事を企画していくと、その期待感はどんどんふくらんでいきます。

そうして迎えた行事の当日。子どもたちは全力で楽しめます。自分たちが参加して作り上げた行事をやり遂げたときの達成感が、さらなる成長につながっていくのです。



お泊まり保育



運動会



親子遠足



生活発表会



一人ひとりに寄り添って
どんなときも

子どもたちは、その成長の過程で、風邪をひいたり感染症にかかったりすることがあります。そのようなときみぎわでは、看護師が付き添うことで子どもが安心して休むことのできる環境をつくります。保護者の方がどうしてもお仕事を休めないときや、子どもが急に体調を崩しても、すぐにお迎えを行うことが難しいときの子育て支援として「病後児保育」「体調不良児保育」を行っています。

現在、みぎわグループのなかで、清水みぎわ保育園と吉秀みぎわ保育園の2園でこの取り組みを行っています(清水みぎわ保育園では「病後児保育」と「体調不良時保育」を、吉秀みぎわ保育園では「体調不良児保育」を実施)。また、みぎわ保育園、中京みぎわ園、中京みぎわ保育園ルーム、吉秀みぎわ保育園の子どもたちも、清水みぎわ保育園での病後児保育を利用することができます。

病後児保育



回復期(※)の子どもたちは、看護師のケアのもと安静に過ごします。そのようななかでも、子どもたちの遊びへの欲求や好奇心は尽きません。体調を見ながら、無理ない範囲で年齢に応じた室内遊びができるよう、子どもの一日が少しでも輝くものになるよう、工夫を凝らしています。

※「回復期」…医療機関による入院加療の必要性はないが、安静の確保に配慮する必要があり、集団生活が困難な状態の時期。

体調不良児保育



子どもの突然の体調不良はよくあることです。お仕事の関係などで、すぐにお迎えにお越しになることが難しいときもあるでしょう。そうしたとき、いつも保育に携わっている顔なじみの看護師が子どもをしっかり見守ります。

今しかない
子育ての時間を
楽しめるように



「保護者の方々が、子育ての時期をすこしでも余裕をもって楽しみ、充実した親子関係を築けるように全力でサポートする」。これがみぎわの保護者支援の方針です。そのために、時間的、精神的、金銭的なご負担をなるべくおかけしないよう、ご家庭での時間がより充実するよう、法人として努力しています。同時に、保育・子育てのプロとして、育児相談、発達相談をいつでもお受けする体制を整えています。



お迎えの時間が遅れても
遅延金はありません

契約時間を超えても、無料で保育を継続できます。お仕事の都合などでお迎えが遅れることもあるでしょう。その際は、お電話をいただくだけで結構です。



行事の準備はすべて園で
行います

季節ごとにいろいろな行事があります。そうした行事の準備は、日常保育の一環として、保育士と子どもたちが行いますので、保護者の方にお手伝いいただく必要はありません。遠足の際のお弁当も、給食室が準備します。



オムツは園で補充できます
また、使用済みのオムツは園で廃棄します

0・1歳児のオムツは、ご希望の方に有料で園が補充するサービスを行っていますので、毎朝、不足分をご家庭からお持ちいただく必要はありません。使用済みオムツも園が廃棄します。



保護者負担金を最低限に抑えます

「園のためにではなく、子どものためにお金を使えるように」。この方針のもと、保護者の方に不要な金銭負担が生じないように努力しています。例えば3歳児以上の給食費について、国の基準は主食費と副食費を合わせて月7,500円ですが、みぎわでは給食の質を保ったうえで、月5,000円(実際の原価相当)のみいただくこととしています。



布団やシーツをお持ち帰りいただく
必要はありません

布団・シーツは園で洗濯・乾燥を行いますので、ご家庭にお持ち帰りいただく必要はありません。
※ただし、みぎわ保育園では園児数が多いことから園での洗濯が難しく、毎週金曜日シーツのみご家庭にお持ち帰りいただき、洗濯をお願いしております。



保護者会はなく、子育て家庭に時間面での
ご負担をおかけしません

「園のためにではなく、子どものために時間を使えるように」。保護者の方に時間面でのご負担をおかけしないよう、保護者会は設けておりません。他方で保育参観や親子遠足など、みぎわの保育をご覧いただきながら、保護者の皆様が交流し、意見交換できる機会があります。



お仕事がない日でも
園をご利用いただけます

お仕事がない日に園をご利用いただけないとなると、保護者の方がリラックスし、一息つく時間が制限されてしまいます。余裕あってこその子育てです。必要なときはいつでも園をご利用ください。



多様な専門性をもつ職員が、いつでも
育児・発達関連のご相談をお受けします

日々子どもたちの様子は担当クラスの保育士が、食に関するご相談は栄養士が、発達面での専門的なご相談は臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士が、いつでもお受けできる体制を整えています。おひとりでも悩む必要はありません。子育てのプロとしてサポートさせていただきます。

園の紹介 みぎわには様々な特色を持つ園があります



みぎわ 保育園

1978年開園
京都市認可保育所
[150名定員]



緑豊かな園庭や大きなプールをもつ 伝統と活気のある大規模園

緑豊かな園庭、大きなプール施設、そして歴史のある広い園舎。みぎわ保育園には子どもたちが元気いっぱい活動することのできる環境が整っています。職員もベテランから若手まで元気にあふれ、子どもたちと全力で向き合っています。園外活動も活発で、京都の文化に触れたり、自然に触れたりする機会が多くあります。

また、同じ敷地内にみぎわ児童館が併設されていることで、卒園後も小学生以降の子どもたちをお預かりできるのが強み。地域に根差し、長期間にわたって一貫した子育て支援を行います。



基本情報

職員数(計37名)
保育士 27名
臨床心理士・
公認心理師 1名
調理担当 6名
企画・事務等 1名
正看護師 1名
運転手・用務員 1名

定員 150名
対象 0歳(57日目)～5歳
保育時間 7:00～19:00
保育料 京都市が決定します
電話番号 075-621-5211

アクセス

住所 〒612-8006 京都市伏見区桃山町大島 38-110
京阪「木幡駅」より徒歩約8分
京阪「桃山南口」より徒歩約10分
JR「木幡駅」より徒歩約10分
JR・地下鉄「六地藏駅」より徒歩約19分



みぎわ児童館

1981年開館
[80名定員]



学童が放課後に生き生きと遊ぶ場 そして朝は地域の子育て家庭が憩う場

みぎわ保育園に併設された児童館では、小学校1～6年生の学童が放課後の時間を過ごします。「友達といろんな遊びを楽しみたい」、「たくさん本を読んでみたい」、「集中して宿題をしたい」、「おいしいおやつが楽しみ」など、子どもたちの思いはさまざま。どんな期待にも応えられるよう、4階建ての館内を「遊び」、「おやつ」、「読書」、「宿題」など用途ごとのスペースに区切り、子どもたちが集中して関心のある事柄に取り組むことのできる環境を作りました。

さらに、平日の午前中には、地域の子育て家庭の方にも児童館を開放しており、乳幼児の遊びの場、子育て中の保護者の方同士が交流する場として機能しています。



基本情報

職員数(計18名)
保育担当 9名
うち、臨床心理士、公認心理師1名
介助ボランティア 8名
企画・事務等 1名

定員 80名
対象 小学校1～6年生
保育時間 ※10:00～19:00
保育料 世帯の課税状況に基づいて算定します
電話番号 090-6328-6444

※小学校の春・夏・冬休み及び土曜日は8:00～19:00

アクセス

住所 〒612-8006 京都市伏見区桃山町大島 38-110
京阪「木幡駅」より徒歩約8分
京阪「桃山南口」より徒歩約10分
JR「木幡駅」より徒歩約10分
JR・地下鉄「六地藏駅」より徒歩約19分

園の紹介 みぎわには様々な特色を持つ園があります



中京みぎわ園

2016年開園
京都市認可保育所
[70名 定員]



乳児・幼児ともに、一人ひとりとじっくり 向き合った保育ができる中規模園

JR 二条駅に近い中規模保育園です。子どもたちが伸びやかに過ごすさまざまな工夫が凝らされた園舎。見晴らしのいい屋上の庭園、1階にある雨天対応型のピロティーではめいっぱい体を動かすことができます。
2020年4月には、中京みぎわ園から20m南に、分園「ななほし」が開園。「ななほし」の1階は2歳児が過ごす場所であるほか、2階には遊戯室を設けています。
また、2021年4月には当園から徒歩8分の場所に「朱雀みぎわ学童保育所」がオープンしました。これにより、とくに朱雀第一小学校に進学予定の園児には、0歳から12歳まで一貫した保育・支援を行うことができます。



基本情報

職員数(計27名)
保育士 16名
保育補助 2名
臨床心理士・
公認心理師 1名
調理担当 5名
企画・事務等 1名
正看護師 1名
給食運搬 1名

定員 70名
対象 0歳(57日目)～5歳
保育時間 7:30～19:00
保育料 京都市が決定します
電話番号 075-432-8534

アクセス

住所
中京みぎわ園
〒604-8861 京都市中京区壬生神明町 1-13
分園 ななほし
〒604-8861 京都市中京区壬生神明町 1-382
市営地下鉄東西線「二条駅」より徒歩約6分
JR山陰本線「二条駅」より徒歩約6分
(駐車場・駐輪場あり)



朱雀みぎわ 学童保育所

2021年開所
[120名 定員]



朱一小学校の敷地内に、待望の学童保育所誕生！ 放課後が待ち遠しくなるような、遊びと学びの場所

2022年1月、朱一小学校の敷地内に朱一会館が新設されました。この建物は、地元の自治会と消防分団、美樹和会とが共同で建設したもので、その内部に「朱雀みぎわ学童保育所」があります。小学生の子どもたちにとって、放課後は楽しみあふれる時間。宿題をしたり、読書に集中したり、体をめいっぱい動かして夕暮れまで遊んだり、楽しみ方はいろいろです。サッカークラブや英会話クラブなど、有料で参加できる活動もあります。どの子ども、「あー、今日も学童楽しかった！明日も行きたいな！」と思えるような場所にするため、これから保育内容や環境をどんどん充実化させていきますので、ご期待ください。

※朱雀みぎわ学童保育所の多くの職員は、小学校の放課後がはじまるまで近隣の系列園「中京みぎわ園」で幼児組の保育にたずさわっています。同園の卒園児で朱一小学校に通う子どもたちには、乳幼児期だけではなく小学校に進学してからも一貫したサポートを行うことができます。



基本情報

職員数(計11名)
保育担当 9名
うち、公認心理師1名、作業療法士1名
介助ボランティア 2名

定員 120名
対象 小学校1～6年生
保育時間 ※14:00～18:30
保育料 世帯の課税状況に基づいて算定します
電話番号 080-7054-4358

※小学校の長期休暇及び土曜日は8:00～18:30

アクセス

住所
朱雀みぎわ学童保育所
〒604-8871 京都市中京区壬生朱雀町 8-2
JR「二条駅」、地下鉄東西線「二条駅」より徒歩約7分
京都市バス「千本三条・朱雀立命館前」より徒歩約3分

園の紹介 みぎわには様々な特色を持つ園があります



中京みぎわ 保育ルーム

2014年開園
京都市認可小規模保育事業所
[15名定員 0～2歳児]



乳児の異年齢保育で子どもどうしの 学び合いを実現する小規模園

小規模保育だからこそ可能になる、ゆったりとした家庭的な雰囲気
のなかで、子ども一人ひとりと丁寧に関わる園です。
「乳児の異年齢保育」も小規模園ならではの取り組み。0・1歳児に
とって、間近でみる2歳児は何よりのお手本です。お兄さん、
お姉さんの楽しく遊ぶ姿を見て、「自分も試してみたい、やってみ
たい!」という意欲が育まれます。遊びのなかでは2歳児が0・1歳児
をリードしてくれることも。こうした「子どもどうしの学び合い」の
なかで、遊びの幅がどんどん広がり、心身の成長につながっていき
ます。また、烏丸丸太町付近という立地を活かし、御所を中心と
して積極的に園外活動を行い、身体をたくさん動かして遊びます。



※中京みぎわ保育ルームは、中京みぎわ園と連
携協定を締結しています。
3歳児での転園の際、中京みぎわ園に入園希望
を出される方には10点が加点されるため、保
活で極めて有利になります。
中京みぎわ園に空きがない場合でも、まずは
中京みぎわ保育ルームで乳児期を過ごし、幼
児期から中京みぎわ園に転園するというこ
とも十分可能ですので、あわせてご検討下さい。

基本情報

職員数 (計12名)	定員	15名
保育士 11名	対象	0歳(57日目)～2歳
調理担当 1名	保育時間	7:30～19:00
	保育料	京都市が決定します
	電話番号	075-746-5015

アクセス

住所
〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上る
少将井町 245-1
藤和シティスクエア烏丸丸太町 101
地下鉄「丸太町駅」より徒歩約3分
地下鉄「烏丸御池駅」より徒歩約6分



吉秀みぎわ 保育園

2018年開園
企業主導型保育事業所
[12名定員 0～2歳児]

木のぬくもりが感じられる園舎で、 乳児がのびのびと過ごす小規模園



株式会社吉秀トラフィック等と連携した企業主導型保育
事業所です。八幡市北西部、国道1号線沿いに位置し、
往来する車の喧噪から少し離れた静かな場所に園舎が
あります。子ども一人ひとりへの関わりをていねいに行
うことができるのが特徴で、園庭での外遊びや近隣へ
のお散歩も行なっています。同じ敷地にある吉秀トラフィ
ックの方々からは、行事のときを中心に様々な協力をいた
だいています。保育士だけでなく、多くの大人に見守られて
子どもたちが成長できる園です。



基本情報

職員数 (計10名)	定員	12名
保育士 6名	対象	0歳(57日目)～2歳
保育補助 1名	保育時間	7:30～19:00
正看護師 1名	保育料	0～2歳児 企業枠10,000円/月 地域枠15,000円/月
調理担当 1名	電話番号	075-971-3331
企画・事務等 1名		

アクセス

住所
〒614-8133 京都府八幡市下奈良新下 6-3
京阪バス「下奈良」バス停より徒歩約4分
(駐車場・駐輪場あり)
※自家用車での登園、降園が容易な園です。
(園舎の前に駐車可能)

園の紹介 みぎわには様々な特色を持つ園があります

清水みぎわ 保育園

2018年開園
企業主導型保育事業所
[60名定員]



陽当たりのよい広々とした保育スペースで 子どもたちに手厚く関わる中規模園

医療法人清水会、社会福祉法人弥勒会等と連携した企業主導型保育事業所です。伏見の疎水を見下ろす園舎はとても広く、子どもたちがのびのびと活動しています。すぐ近くには緑豊かな住吉児童公園があり、天気の良い日は園外でめいっぱい体を動かします。また、看護師が常駐しており、急な体調不良の場合は保育看護を行うほか、みぎわのグループ園の子どもたちを、病後児としてお預かりする機能も持っています。



基本情報

職員数 (計22名)	定員	60名
保育士 16名	対象	0歳(57日目)～5歳
保育補助 1名	保育時間	7:00～20:00
調理担当 1名	保育料	0～2歳児 企業枠10,000円/月 地域枠15,000円/月
正看護師 2名		3～5歳児 無料
給食運搬 1名	電話番号	075-602-7375
企画・事務等 1名		

アクセス

住所
〒612-8321 京都市伏見区越前町 609
近鉄「伏見駅」より徒歩約4分
近鉄・京阪「丹波橋駅」より徒歩約12分
(駐車場・駐輪場あり)
※自家用車での登園、降園が容易な園です。
(園舎の前に駐車可能)

